

# 湘南映像祭新聞の定期発行開始

メディアリテラシーとパブリックアクセスの普及を目指して！

湘南映像祭新聞の定期発行に際して寄稿させていただきます。

近年、インターネット技術の進歩により、メディア発信が大きく変化してまいりました。誰でもが発信できるツールを持つことができます。しかし、世界に向けての映像発信は、日本ではまだ少ない状態です。その改善にメディアリテラシー映像教育が必要です。映像

湘南映像祭新聞の

定期発行に際して

安田 浩(やすだ ひろし)



発信技術とリテラシーをしっかりと高等学校で身に着けることが重要です。

この新聞によって、学校の枠を超えた新たなメディア教育論が展開され、青少年が情報発信の能力を高め、コンテンツ立国として日本の基盤作りにつながることを願います。これからの湘南映像祭新聞の活動に期待いたします。

安田 浩(やすだ ひろし)

元東京大学国際・産学共同研究センター教授。現在東京電機大学未来科学部教授。工学博士。東京大学名誉教授。

CISSP(Certified Information Security System Professional)画像処理、画像符号化などの分野に携わり、JPEG、MPEG規格標準化での功績により1996年米国エミー賞を受賞。

scmn

Shonan Citizen Media Network

湘南映像祭新聞

Shonan Citizen Media Network

発行者  
NPO法人  
湘南市民メディアネットワーク  
神奈川県藤沢市藤沢110-4  
TEL/FAX 0466-62-2288  
<http://scmn.info>

## 第4回湘南映像祭

2008年9月21日開催!!

開催場所 藤沢産業センター7・8F  
入場無料

### 4月より作品募集開始

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 応募資格 | 個人・団体とプロとアマおよび国籍・年齢は問いません    |
| 応募期間 | 2008年4月1日～8月20日              |
| 応募条件 | 部門やジャンルは問いません<br>作品の長さは15分以内 |
| 出品料  | 無料                           |



(第3回表彰式)

主催 NPO法人  
湘南市民メディアネットワーク

TEL・FAX 0466-62-2288  
E-mail [info@scmn.info](mailto:info@scmn.info) HP <http://scmn.info>

かながわボランティア活動推進基金21ボランティア活動補助金の助成を受けております

ミオ塾



一人一人にこだわって 学習のコーチを40年

一ひらめく頭に変えるー

IQ EQ  
知と心

小中高 個人教授 補習・受験  
数英 一私立小中高補習 高校・大学受験

江ノ電 江ノ島駅 2分

ミオジユク  
☎0466-26-3019

### Ulead VideoStudio 11

8年連続No.1ビデオ編集ソフト誰でもビデオ編集に挑戦できる定番ソフト



Ulead DVD MovieWriter 6  
先端の技術を搭載したフルスペックバージョン

コーレル株式会社 [Corel Japan, Ltd.]

<http://www.corel.jp>

COREL

### 湘南メディアニュース

“音”

今回第1弾は“音”です。“音”をうまく使うことで楽しい映像制作ができます。しかし、映像制作で大変な作業はなんと“音”の処理です。学校では収録用マイクがありませんので、通常マイクをスタッフに持たせて役者のそばに座らせて収録するとか、編集時に台詞をアフレコするとか工夫が必要です。さらにBGMは著作権処理が大変です。授業では著作権を身に着けるためにもフリー音源が必要です。では、フリー音源はどこにあるのでしょうか？インターネットにも音源はありますが、ファイル変換が必要な場合もあります。ビデオスタジオではあらかじめBGMの音源が入っています。授業で使う音源としては十分です。またビデオスタジオの音源を使つて、音を逆再生したり、スピードを変化させたりして音作りもできます。授業ではビデオスタジオの音源をいくつか限定して制作させる、オート音映像授業が簡単にできます。音に合わせる映像制作授業も面白いですよ。皆で楽しめる映像制作ソフトです。



## 情報と映像

## これからのメディア情報学

川合 康央(かわい やすお)

近年、とはいってもまさにここ数年のことですが、急速に普及したデジタル化によって、映像の分野ではその在り方が劇的に変化しています。これまで、映像作品を制作する過程では、その役割に応じて夫々の高い専門的なスキルを持った人材(役者・ナレーター・カメラマン・照明などなど)が大勢必要でした。映画やTVなど、映像を視聴する環境は一般家庭にまで浸透してきましたが、その映像を作る側・発信する側になることはなかなかハードルの高いものでした。映像は非常に力のある情報メディアです。これまで私たちは、主にマスメディアからの一方的な情報の受け手として、そのメディアリテラシーもあいまいなまま、映像というメディアと向き合ってきたわけです。

しかし情報システムと情報ネットワークによって、さまざまな形でこの映像に対する社会構造は一変します。インターネット上で、TV放送はリアルタイムで批評され、携帯電話につけられたカメラからはリアルタイムに映像を世界に発信します。ソフトウェアによって、ビデオカメラで撮影した画像を簡単に編集すること

です。そのなかで我々は新しいメディアとの付き合い方を考えなければいけない局面を迎えています。

デジタルによって身近になった映像コンテンツ制作は、一人で全てを作り出すことが可能となりました。この新しい時代のメディア情報学教育においては、スキルとセンスの両方を磨くことが必要となります。見た目の美しさだけでなくユーザーに優しいコンテンツをデザインするには、そのバックにあるエンジニアリングの知識が不可欠です。逆に、エンジニアが新しい技術を生み出すには、その技術によってどのようなコンテンツが制作できるのかをあらかじめ視野に入れるければなりません。デジタルコンテンツ制作の現場では、時としてエンジニアとデザイナーが夫々の視点から対立してきました。これまでエンジニア教育とデザイナー教育は、夫々異なった考え方に基づいてい

ましたが、これからはその両者をバランスよく自由に使いこなせる広い知見と、誰にも負けない深い専門性が必要となつてきます。

ではそのような新たな情報化社会を牽引する人材を育成する大学教育とは。まずスキルとセンスを演習科目により体感し、表現することについての興味を引き出します。興味を持てば誰でも自然に自学自習を始めます。思い通りの表現を達成するにはどうすればいいのかと、試行錯誤の末、やがて手を動かすことで頭が動き出します。やがてこれまで一方的に受動してきた映像メディアの背景にある作り手の意図が理解できる視点を得ることが出来ます。こうなればあとは学生のために教員が行えることは、彼らの制作環境とその発表の機会を用意することです。実際に映像を作るとなれば、いま自分が置かれている身近な世界、住んでいる地域をモチーフにすることから始まります。そこから地域メディアを、体に刻んで行しながら学んでいきます。情報ネットワークは、SNSの例を出すまでもなく、グローバルであると同時に限りなくローカルなものでもあるメディアです。地域のイベントを取材するには、その街に住む人との身体的な関わりが重要です。

そもそもメール文化以前に、私たちは毎日これほど多くのテキストを書き、これほど密にコミュニケーションをとっていたでしょうか。デジタルの世界では、まさにアナログ世界以上に身体性こそが重要であり、より親密なコミュニケーションを必要としています。



川合康央(かわいやすお)  
文教大学情報学部  
情報システム学科デジタル  
コンテンツコース 准教授

## 映像のまなび小屋

## 「シネコヤ」開設！

こんなところがあつたらいいな？。

と、のんびり出発した「シネコヤ」が、ついに開設です。「シネコヤ」とは、シネマの小屋という意味。

「映像のまなび小屋」をコンセプトに過去の映画作品、単館系映画、市民、学生の作品を定期的に上映し、ワークショップなども企画してゆきます。

つまり、観て学び、つくって学び、映像上手になっちゃおう！  
ついでに湘南映像祭で賞をいただいちゃおう！といったところですよ。



場所はNPO法人湘南市民メディアネットワークの事務所。

小さなスペースだけど、まるでアジトみたいなその場所は、なんだかノスタルジックで不思議な空間です。

記念すべき第一回は4月下旬開催。

次いで4、5、6月連続で映像のワークショップも計画中！湘南生まれのこの企画。湘南で一緒に育て欲しいのです。構想期間1年！...なんだたいしたことないじゃんなんて言わないでね。

今春開設の「シネコヤ」でお待ちしています。

(お問い合わせ)  
cinekoya@scmn.info

コウちゃん  
DMDムービー塾  
紹介レポート

DMDとはデジタルムービーディレクターの略です。簡単に3Dアニメ映像を制作するソフトです。

小学生から80歳の方まで延べ1000名以上の方々が受講しています。一日の受講でどなたでも映画監督になれるのだ。

キャラクターを選び会話をテキスト入力して、動作や顔の表情を選べば3Dアニメーションが完成します。

全ての映像制作作業を一人でこなすことができる楽しいソフトなのだ。



ぜひ一度触ってみませんか？連絡待ってます。  
DMDムービー塾  
http://www.movie-school.org





## 定期発行に關して

NPO法人

湘南市民メディアネットワーク

代表 森 康祐

創刊にあたりご挨拶いたします

私たちは年に1回湘南映像祭を開催し映像表現の発表の場を提供していますまた、

映像制作講座やアニメ制作講座も開催し、新たな地域映像

コミュニティを作り、地域情報が発信されることを目指して活動しております。団体活

動の広報と映像メディアの楽しさや、その意味を考える為の新聞を定期発行いたします

今年度は、1年間映像表現の授業のお手伝いをする機会に恵まれ、多くのことを勉強

させていただきました。生徒が映像製作の過程で変化していく姿を見つめることができました。テーマを自分たちで

探し、撮影時の問題を解決し、創造性を発揮して、共同で制作する姿は頼もしく思えました。生徒は、映像メディア表現

授業で視点の大切さと映像感覚を学んでくれたと思っています。

映像制作はビデオカメラやデジタルカメラなどで撮影し、



パソコンで編集する。この作業は今や誰でもできる簡単な作業です。編集ソフトは4時間程度の講義で学生は覚えま

す。学校のパソコンも次第に編集に耐えられるスペックに成

りつつあります。いよいよ公立の学校でも映像があらゆる教科で活用され、サークルや部

活動でも制作される時代になってきました。そこで、私たちのネットワーク情報をお伝えする新聞を発行し、さらに

楽しい映像制作授業に役立てていただきたいと願っています。映像表現は集団で行う作

業です。そこには、自主性や協調性、他の感性を認めることを体感できます。映像表現は他者と共同する有意義な時間なのです。テレビ局では

す。そして学生の映像の世界を創ります。このツールで、学生たちは、世界に発信できるメディアを作り、楽しい自己表現を見出し、世界へ向けて問いかけ、地域情報の発信を楽しみます。その為にこの新聞が少しでも役立つことを信じて発行いたします。この新聞をあらゆる年代の方々に読んでいただくことで、新しいコミュニティが生まれると考えています。映像は国や世代・人種を超えることができるツールです。このツールを皆さんが使うきっかけや情報の一つとしてこの新聞を活用してください。

今後の湘南映像祭新聞に期待ください！



Serve the World 21

文学部 経済学部 法学部 工学部 人間環境学部

関東学院大学

校訓 人になれ 奉仕せよ

<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/>

## PORT OF NPO

### 活き活きとした藤沢を支える 市民活動(NPO)を応援します 藤沢市市民活動推進センター

「藤沢市市民活動推進センター」は、藤沢駅北口から徒歩7分、藤沢市にはじめての市民活動(NPO)を応援する施設として、藤沢市が設置した施設です。

推進センターでは、藤沢市民を対象に活動する市民活動団体や活動を志す市民の皆様にご利用いただき、より良い自立した市民活動を推進しています。管理運営を担っているのは、NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会です。

藤沢市の活性化を目指し、市民活動を応援する市民活動団体として発足し、中間支援組織(NPO)を応援するNPO)としての研修や自主事業を展開しています。その事業の一環として、推進センターの管理運営も受託しています。

推進センター内で行う基本的な事業としては、NPO関連情報の収集と発信、NPO関連の研修会の実施、市民活動団体間の横の連携推進



があります。さらに、市民の市民活動に関する意識や理解の向上を目指す事業を進めています。又、センターの存在を最大限に活用するための「産・官・学・民(市民動)のコーディネート事業を展開実施しています。その他のサービスとしては、NPO関連相談会(IT・会計・労務・活動など)、図書の貸出及び館内情報誌・団体活動情報誌・メールマガジンの定期発行とサポータークラブ事業(ITサポート・ワークサポート)を挙げることが出来ます。

館内は、総面積449.5㎡(約135.7坪)で、印刷機・コピー機・紙折り機・裁

断機を備えた作業スペース、打ち合わせ等お気軽にご利用いただく交流スペース・多目的スペース、関連図書フリー使用のPC(4台)を備えた情報コーナー、会議室(2室)などがあります。センター利用には、原則登録が必要で、430団体(2008年1月末現在)に皆様にご登録いただいております。開館時間は、9:00~22:00、休館日は、原則火曜日と年末年始です。

「市民活動「NPO」という言葉は、意味がわかりにくく、なじみが薄い方も大勢いらっしゃるようですが、藤沢市の活性化の一端を担う「第三のセクター」として、市民の皆様にごびご理解をいただけますよう啓発事業の一層の充実を図りたいと思っています。



## NPO法人湘南市民メディアネットワーク

### 事業内容

湘南映像塾(パソコン教室)

撮影・編集

インターネットライブ放送

CMの制作

映画・ビデオの上映会 他



TEL&FAX 0466-62-2288  
E-mail info@scmn.info  
URL <http://scmn.info>

<http://www.city.fujisawa.ne.jp/~fnpoc/>  
E-mail [fnpoc@shonanfujisawa.com](mailto:fnpoc@shonanfujisawa.com)

URL <http://www.city.fujisawa.ne.jp/~fnpoc/>

文責：藤沢市市民活動推進センター スタッフ 手塚明美  
連絡先  
〒251-0052  
藤沢市藤沢1031番地の小島ビル2階 ※藤沢駅北口からJR線路沿いの道路を辻堂方面に徒歩7分程度。  
電話0466-15414510  
FAX0466-15414516